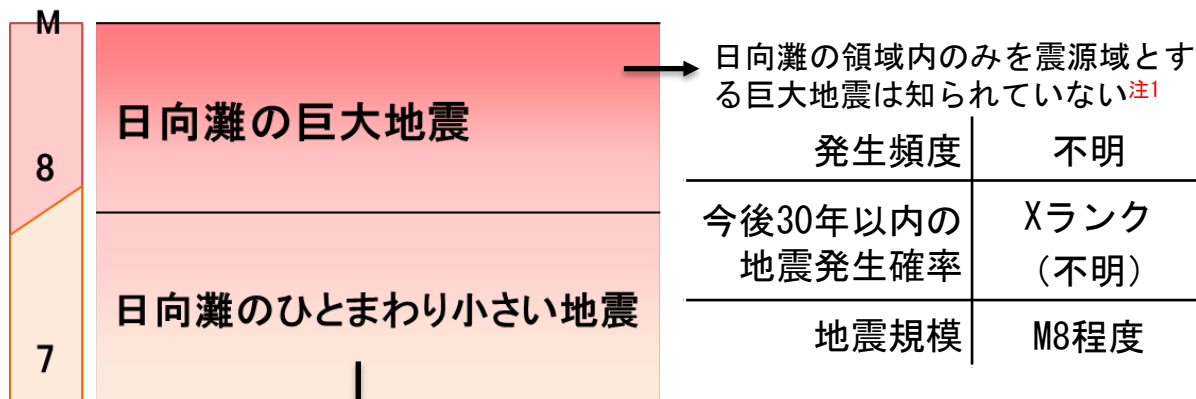


# 日向灘周辺の地震活動の評価

将来発生する地震の評価

## 日向灘を震源域とする地震



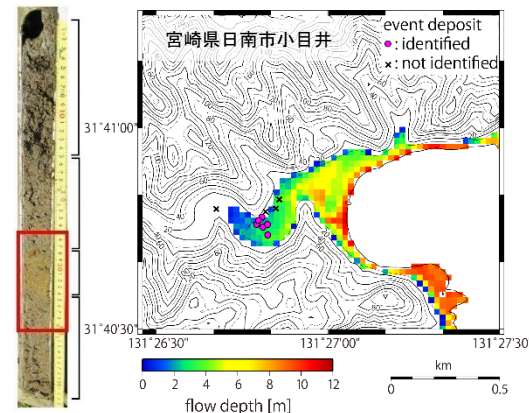
確率計算に使用した地震	1919年以降の5回
発生頻度	約20.6年に1回
今後30年以内の地震発生確率	Ⅲランク (80%程度)
地震規模	M7.0~7.5程度

評価した地震の発生年<sup>注2</sup>

1662<sup>注1</sup>、1769、1899、  
1931、1941、1961、1968、1984

<sup>注2</sup> 1498年にも地震があったとされているが、原田・他(2017)によってこの地震の存在に否定的な見解が出されている

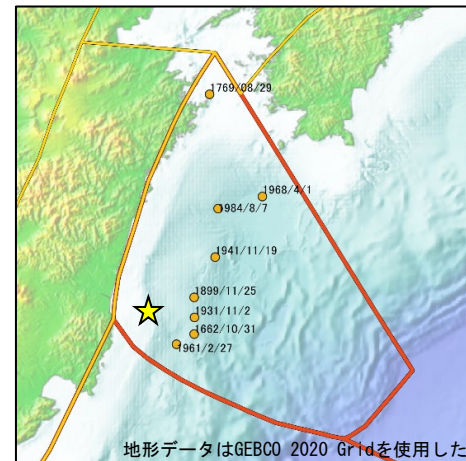
<sup>注1</sup> 1662年に発生した地震 (M7.6) は巨大地震であった可能性がある。羽鳥 (1985) はこの地震に伴う津波が日向灘で発生した最大級の津波であるとしたほか、Ioki et al. (2020) は、他のひとまわり小さい地震に比べて、この地震の津波の規模が大きいことを指摘。



1662年日向灘の地震に伴う津波堆積物と津波浸水シミュレーション結果 (伊尾木圭衣氏提供資料に加筆)

### 留意点

- 震源決定精度の問題等があるため、プレート間地震とプレート内地震を区別せずに評価する。
- 地震の発生頻度は一定で、時間が経過しても地震の起こりやすさが変わらないと仮定して、地震発生確率を計算。
- 南海トラフの地震活動の長期評価 (第二版) では、南海トラフのM8~9クラスの地震について日向灘を震源域の一部に含めている。詳細は南海トラフの地震活動の長期評価 (第二版) を参照。



日向灘のひとまわり小さい地震の震央分布

★ 今回の地震